



めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



特集

Vol. 3

**新嵐山スカイパーク
経営改革調査特別委員会**

● **議会ホットボイス**
新嵐山支援の議会否決 なぜ? P10

新たな新嵐山 スカイパークのあり方 全議員で集中議論

9/29
第5回
特別
委員会

9月21日に再開した9月定例会議において、議会は町が提案したためむろ新嵐山株式会社（以下「会社」という。）の追加支援金としての補正予算5,200万円を賛成少数（賛成4・反対11）で否決しました。

この後、議会では、早急に議会としての「新たな新嵐山スカイパークのあり方」を整理すべきことから、第5回特別委員会を開催し全議員の意思を確認するために、四時間の時間を費やして議会の意思を「提言書」にまとめました。

なお、この、「提言書」は10月2日に鈴木健充委員長（新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会）から手島町長に提言書を手交し、町と密に連携しながら精力的に取り組むことを共有したところ（P2参照）です。

R5末までの収支見通し、 信憑性が低いと判断

9/5
第4回
特別
委員会

町が示したR5中の収支改善等の主なポイント

□ 収入	
宿舎部門	・ 予算対比138%目標設定 ・ 2,430万円→3,360万円（宿泊事業強化）
スキー部門	・ 予算対比106%目標設定 ・ 350万円→580万円（長くつプログラム強化）
キャンプ場部門	・ 予算対比108%目標設定 ・ 0円→850万円（冬季キャンプ）
□ 支出	
経費	・ 予算対比108%見込み
□ 収入-支出	
収支	・ 約80万円利益見込み ※物価上昇によるリスク支援1,758万8千円の収入を別途含む収支

第4回委員会では「令和5年度下半期の収支予算計画」を中心に調査を進めました。これは、第3回特別委員会（8月21日開催）において、5,200万円の追加支援の是非を判断する上で、これ以上の新たな支出の有無をあらかじめ確認する目的です。

町からは新たな改善策として、スキー営業の経費削減のため、ナイター営業と第2リフトを休止し、電気料金と人件費合わせて約1,300万円を削減、最終的な経常利益約80万円を見込んだ収支計画の提示がありました。判断材料不足により議員の理解は得られませんが、調査は終了しました。

今後の新嵐山活用に向けて 議会の意思を町へ提言-10/2

特集
Vol. 3



10月2日に鈴木特別委員会委員長から手島町長に提言書を手交

「新たな新嵐山スカイパークのあり方」に係る提言書

町は、本年7月12日に、「新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）」などの影響により、新嵐山スカイパークの指定管理事業者である「ためむろ新嵐山株式会社（以下「会社」という。）」が債務超過となり、資金繰りがひっ迫し危機的状況である実態を「現状」、「対応案」、「新たな在り方について」にまとめて、議会に提示した。

議会ではこの事態の緊急性と重要性を鑑み、7月臨時会議（7月28日）において、全会一致で特別委員会の設置を議決した。その後、1か月半という短い期間の中で、4回の委員会を精力的に開催し、4つの視点①現行経営方針（財産の定義、事業の目的、成果と課題）、②経営方針を変更する背景と理由（不可抗力と過失の区分含む）、③町の資金支援計画（支援時期及び支援金額）、④経営方針変更の手順とスケジュールで調査を重ねた。

これらを踏まえ、9月定例会議（9月21日）では、町から会社に対し5,200万円を追加支援する補正予算が提案されたが、議会は賛成少数（賛成4・反対11）で否決した。採決前に賛否それぞれの討論はあったが、コロナの影響を加味したとしても、健全とはいえない会社経営への警鐘は共通した強い指摘であり、かつ、今年度末（令和6年3月）まで会社に経営を委ねた際の収支計画も信憑性が乏しく、施設利用者等への影響は回避できない苦渋の思いはありつつも、町財政の支出を見極めるべき決断に至った。

第5回特別委員会（9月29日）において、議会の総意は新嵐山スカイパークを廃止することが目的ではなく、町が提示した「新嵐山スカイパークの今後について～新たなあり方について（令和5年7月12日）」の各事項については、継続して検討し取り進め、「貴重な財産を守り健全に継承するとともに、新たな新嵐山スカイパークを創出すること」として全会一致となったことから、以下のとおり提言するものである。

記

- 1 検討にあたっては、町民の声を幅広く聴き、「新嵐山スカイパーク自分ごと化会議」からの提言等を尊重し、反映させること。
- 2 検討にあたっては、持続可能な運営を目指し、町全体の財政に支障を来さぬよう、芽室町中期財政計画等との整合性を十分に精査した予算編成及び経費執行を前提とすること。

新嵐山スカイパーク
経営改革調査特別委員会

次のページは「9月定例会議」「9月補正予算」「クローズアップ 討論」

9月定例会議

全40件の審議・報告等を
日程どおり完了

9月1日に開会
した9月定例会議は、

21日、22日の一般質問を経て、9月26日に閉会しました。

定例会議においては、令和4年度会計の決算認定や条例改正のほか、選挙管理委員及び補充員選挙を行いました。

一般質問の詳細は次号(11月号)に掲載します。

主な内容

●行政報告

町長から8月21日の大雨による被害と対応について、農業、道路関係で洗掘等の被害があったこと等の報告がありました。災害復旧に係る費用は、専決処分により補正予算が編成され、受理しました。

●任命同意

9月30日に任期満了となる教育委員会委員の再任に同意しました。

●意見書案

「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書」など2件の意見書は、全会一致で原案どおり可決され、同日付で衆議院議長などに提出しました。

●選挙

選挙管理委員及び補充員の選挙は、議長による指名推選として、7名全員が当選しました。

●9月定例会議における提案議事の内訳

行政報告	2件
任命同意	1件
決算認定	9件
報告	4件
剰余金処分	1件
訴えの提起	1件
契約締結	2件
町道認定・廃止	1件
条例改正	2件
規約変更	1件
財産取得	1件
補正予算	9件
意見書案	3件
陳情	2件
選挙	1件

クローズアップ討論

討論とは、議員が自分の見解を述べ、理由を述べ、他の議員の意見を述べ、その賛否を明らかにすることです。



菊池 秀明 委員

新嵐山から町民の心が離れてしまっている。今一度立ち止まって、今すぐにもゼロベースで、行政と議会と町民が一体となって新たな新嵐山のあるべき姿を模索し、新嵐山に係る全ての人が誇れる場所となるように取り組むべきと考える。

小笠原 等 委員

新嵐山は町民の貴重な財産であり、町民ファーストとしての利用を大切にすべきと考えるが、特別委員会での調査において、町からはその理念が明確に示されず、さらに、経費の執行にあつても、一般の民間の発想を遥かに超えた、経営の原点を逸脱した貴重な税の使い方で、これ以上の、投資は住民に説明できる範囲を超えているものと考えられる。

中村 和宏 委員

追加支援について、今後の新嵐山にとって生きた支援となるのが、令和5年度の予算計画、事業見直し内容も示されたがやはり不安を拭き出すことができない。今、少しでも「立ち止まる」ことも必要と考える。そして早急に町議会も町民の方々としっかり議論をし、思いを集めた「再生新嵐山」をみんなで創っていくことが重要である。

常通 直人 委員

めむろ新嵐山(株)とは令和6年3月までが指定管理契約期間であり、先日の特別委員会で収支計画見直し案を示し、さらに収支改善を目指すよう指示しており、また、契約期間中の年度途中で営業停止・倒産となった場合の町内経済への影響ももちろんの事・会社清算後の新しい運営体制にも大きな影響が考えられる。

反対



伊藤 稔 委員

パークゴルフ場等の来訪動機になるサービスの低下や客単価を上げてでも客数が増えない経営で収益の改善が望めなく、町民ファーストの方向に行くことが困難であると考えている。

反対



橋本 和仁 委員

「人員削減による人件費率9割超えの高い経営」、「令和5年度決算見込みのスキー場部門の収入の数字の根拠薄弱」、「単年度決算に仕上がったことによる累積赤字5,178万円への疑義」の3点から、今後の税金投入は許されず、今後本当に必要な事業に大切な税金を充てるべきと考える。

反対



立川 美穂 委員

本来であれば、漫然と行われる支援や安易な支援の拡大を防ぐために、公的支援の上限や期間、支援打ち切り要件などを取り決めるべきところ、町と受託会社との間ではそれが不十分である。また、今回の補正は、債務の損失補償に充当され、債務について損失補償を行うべきではないという国の指針とは乖離する行為に当たると考える。

賛成



渡辺洋一郎 委員

今回提案の支援金が入らなければ、会社は事実上の倒産となり、町民である会社従業員の未払い賃金が発生、取引先への未払い、学校のスキー授業や、スキースクールができなくなるなど、町民や関連会社、関係機関等に甚大な影響を及ぼし、町への信頼も大きく崩れる。

反対



反対



反対



賛成



9月補正予算

新嵐山スカイパークへの指定管理業務支援金(5,178万8千円)の補正予算案を否決(討論はP5にクローズアップ)

9月定例会議(1日、21日及び26日)に提案された各会計補正予算は、予算決算特別委員会に付託して審議し、21日提案分は、賛成少数で否決すべきものと決定。その後の本会議で否決しました。(21日提案分以外は原案のとおり可決すべきものと決定し、その後の本会議で可決しました。)

●一般会計補正予算(歳出)

項目	金額	主な使いみち
議会費	29万円	先進地事務調査
総務費	1,268万1千円	飼料価格高騰緊急対策支援金
民生費	5,034万5千円	児童発達支援給付事業
衛生費	172万円	簡易水道特別会計繰出金
農林産業費	1億3,457万2千円	畑作構造転換事業、農業生産振興対策事業
商工費	1,093万2千円	新嵐山スカイパーク運営支援事業
土木費	3,355万3千円	公営住宅維持管理事業
教育費	1,253万5千円	全国・全道中学校文化体育大会助成金
諸支出金	15万5千円	財政調整基金積立金
職員費	22万8千円	正職員手当等
予備費	464万円	
合計	2億6,165万1千円	

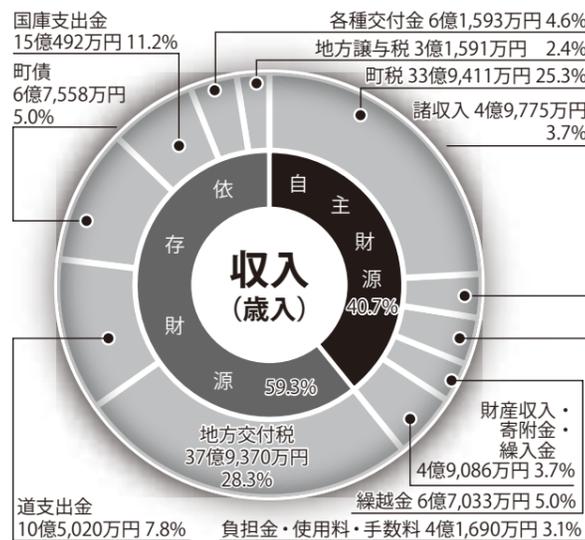
*一般会計は初日(1日)と最終日(26日)の議決総額

●特別会計、事業会計補正予算

項目	金額	主な使いみち
国民健康保険特別会計	▲5,848万3千円	国民健康保険税
後期高齢者医療特別会計	227万4千円	後期高齢者医療保険料
介護保険特別会計	1,538万1千円	過年度介護給付費負担金返還金
地域開発事業特別会計	397万1千円	新東工業団開発基本構想策定委託料
簡易水道特別会計	125万1千円	修繕費
上水道事業会計	0千円	修繕費

令和4年度 決算審査

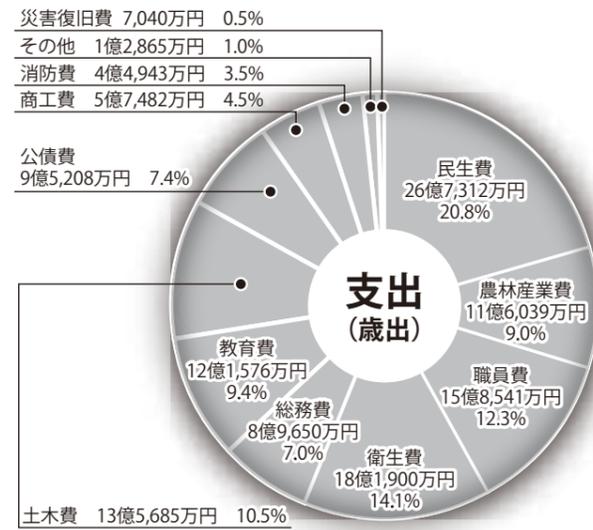
一般会計、5特別会計、3事業会計を審査
すべての会計決算を認定



	令和4年度	令和3年度	増減額
総額	134億2,619万円	157億2,965万円	▲23億346万円
町税	33億9,411万円	32億3,162万円	1億6,249万円
諸収入	4億9,775万円	5億1,381万円	▲1,606万円
財産使料手数料	4億1,690万円	4億4,974万円	▲3,284万円
繰越金	6億7,033万円	5億1,048万円	1億5,985万円
財産収入・寄附金・繰入金	4億9,086万円	7億4,439万円	▲2億5,353万円
地方交付税	37億9,370万円	38億8,552万円	▲9,182万円
道支出金	10億5,020万円	10億4,541万円	479万円
町債	6億7,558万円	20億7,831万円	▲14億273万円
国庫支出金	15億492万円	23億2,025万円	▲8億1,533万円
各種交付金	6億1,593万円	6億3,389万円	▲1,796万円
地方譲与税	3億1,591万円	3億1,623万円	▲32万円

一般会計の歳出総額 128億8,241万円

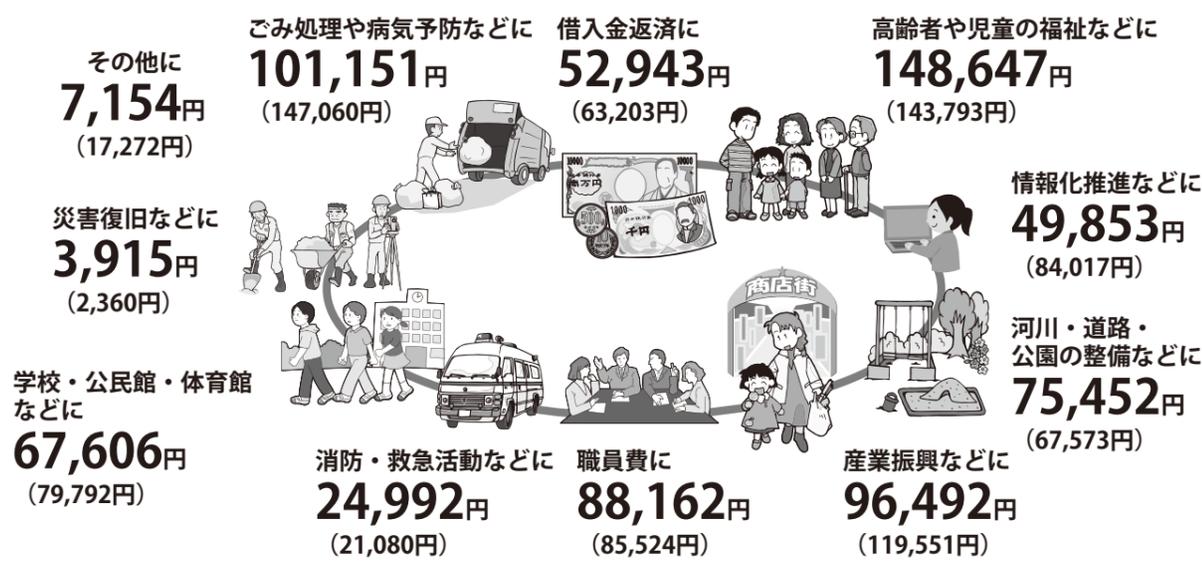
一般会計と特別会計の歳出 177億7,935万円



	令和4年度	令和3年度	増減額
総額	128億8,241万円	150億5,931万円	▲21億7,690万円
民生費	26億7,312万円	26億510万円	6,802万円
農林産業費	11億6,039万円	15億6,671万円	▲4億632万円
職員費	15億8,541万円	15億4,944万円	3,597万円
衛生費	18億1,900万円	26億6,429万円	▲8億4,529万円
総務費	8億9,650万円	15億2,213万円	▲6億2,563万円
教育費	12億1,576万円	14億4,560万円	▲2億2,984万円
土木費	13億5,685万円	12億2,422万円	1億3,263万円
公債費	9億5,208万円	11億4,505万円	▲1億9,297万円
商工費	5億7,482万円	5億9,920万円	▲2,438万円
消防費	4億4,943万円	3億8,190万円	6,753万円
その他	1億2,865万円	3億1,291万円	▲1億8,426万円
災害復旧費	7,040万円	4,276万円	2,764万円

町民1人当たりの支出 **716,366円** (831,225円)
 町民1人当たりの貯金 約**171,000円** (約159,000円)
 町民1人当たりの借金 約**730,000円** (約737,000円)

※令和5年3月31日現在の人口17,983人で算出。
 ※()内の数字は令和3年度決算の額



特別会計

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険	25億2,225万円	22億991万円
後期高齢者医療	3億1,190万円	3億1,079万円
介護保険	20億4,636万円	19億4,889万円
地域開発事業	4,706万円	3,667万円
簡易水道	3億9,344万円	3億9,068万円

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	134億2,619万円	128億8,241万円

事業会計

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)
下水道	7億4,346万円	7億8,431万円
上水道	5億4,339万円	4億6,583万円
公立芽室病院	27億4,413万円	21億9,607万円

※事業会計は収益的収支を掲載しています。

予算決算特別委員会
 4日間の審査を実施
 委員会に付託された令和4年度一般会計、5特別会計、3事業会計の決算は、9月11日から14日までの4日間、わたり審査されました。

各会計を細かく審査
 審査は、会計ごとに行われ、適正に支出されているか、不用額は妥当であるか、事業の成果はあったのかなど、細かく質疑がなされました。

その後、すべての会計を一括した討論が行われ、電子表決システムによる採決の結果、賛成多数により「認定すべきもの」と決定しました。

決算は本会議で最終採決
 9月26日の本会議において、会計ごとに採決を行い、すべての会計決算を認定しました。

※主な質疑、討論は8ページ、9ページに掲載しています。

どう活かされた？ 私たちのお金！！

質疑数
158

審査時間
9時間51分

9月の委員会活動報告
(委員が執筆しています！)

総務経済常任委員会

調査内容
●道内では農家の経営多角化により「農家レストラン」や「農業体験施設」などのグリーン・ツーリズム関連施設が増えていきます。芽室町でも市街化調整区域の農家からグリーン・ツーリズム関連施設の建設の相談を受けていますが、都市計画法の規制により建設することができません。このことから、市街化調整区域の有効な土地利用を図るために計画を策定するもので、計画の概要、スケジュールなどについて説明を受けました。

厚生文教常任委員会

調査内容
●「義務教育費国庫負担制度堅持・負担金2分の1への還元」30人以下学級など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の提出を求め陳情を全会一致で「採択すべきもの」と決定し、意見書を作成しました。
●健康福祉課から「新型コロナウイルススワクチン接種について」の説明を受けました。

答 教育総務係長
教職員の異動により、校務支援システム自体を使つたことがない、また、違うメーカーのシステムを使っている場合、操作が異なるといった課題があるが、年度初めに説明会を開催し対応している。



中村委員

◆土木費
問 木村 淳彦 委員
郊外道路施設維持管理業務については、平成27年度から民間(組合)に委託しているが、組合の加盟数が減少している影響はあるのか？

答 環境土木課長
平成27年度からは業者の数は減ってきているが、現在の業者の中で対応できている状態なので、今のところ支障はない。



木村委員

答 魅力創造課長
自治振興報償の見直しの素案を策定しながら、町内会連合会と協議を進める。



鈴木委員

問 橋本 和仁 委員
企業版ふるさと納税についての課題等は？

答 魅力創造課長
プロジェクトを明確に打ち出し、企業側への提案、またはポータルサイトの活用が今後の課題。



橋本委員

◆介護保険特別会計

問 堀切 忠 委員
介護職員初任者研修費用について、費用対効果について、どのように考えているのか？

答 高齢者支援課長
費用対効果という観点だと委員ご指摘のとおりであるが、同じ地域で気軽に通える場を設けさせていたかどうかという考え方である。



堀切委員

◆総務費
問 鈴木 健充 委員
町内会の加入率が低下している状況で、自治振興報償費の算定方法について、今後の見直しを含めてどのように検討しているのか？

反対 × 賛成 討論

3日間の決算に対する質疑を終え、議員個人が決算に対し「反対(認定しない)」「賛成(認定する)」を表明する討論を行いました。討論では、反対の立場で1人、賛成の立場で3人が意見を述べました。それぞれの討論の要旨を掲載します。
※9件の議案を一括して討論するため、議案のうち1件でも反対要素があれば、反対の立場での討論となります。

議員の意思を自分と分けて行い、賛成を表明する目的を、反対を表明する目的を、それぞれを明らかにし、意見を述べます。



渡辺洋一郎 委員

反対
第1に、国に公費負担を求めるとともに、国民健康保険税の引下げを行うべきであること、第2に、後期高齢者医療保険の年収200万円以上の方の医療費の窓口2割負担の中止を国に求めること、第3に、介護保険料は道内でも高い水準にあり、国に対してこれ以上のサービス低下につながる制度改正を行わないことを求めるとともに、介護保険料の引き下げを求めることから反対する。

一方、一般会計では、新型コロナウイルスや物価高騰によって生活に大きな影響を受けた町民や事業者の健康と生活を守るため、生活支援事業や各種経済対策が行われた。町行政は町民にとって最も身近な存在であることから、今後も町民との対話を重視し、町政執行に取り組みされることを期待する。

菊池 秀明 委員

物価高騰対策を行いつつ、プロモーション事業などを活用し、本町の魅力を町外へ発信するあらゆる事業に取り組んだことを大きく評価する。

将来負担比率の動向など懸念材料はあるが、この一年で整備されたさまざまな取り組み、今後の町の強みとして住民福祉の向上につながるべく、期待する。

機構改革から2年を経て各種新規事業に臨み、継続事業も新たな枠組みで試行錯誤し、非常に困難な状況ではあっても、住民福祉の向上、芽室町の魅力向上への成果が見えた決算である。

決して余裕のある財政状況ではないが、今後も町民の声にこたえ、限られた財源をより効果的に施策に結び付け、「ずっと輝くまちめむろ」が実現することを期待する。

中田 智恵子 委員

1点目、新型コロナウイルス感染症対策と物価高騰対策の推進を評価する。

2点目、コロナ禍における病院事業を評価する。

3点目、登校に困難を抱える児童生徒へ多様な学びの保証し、学びを止めないシステム構築を評価する。今後も激変する社会経済情勢や財政状況を的確に認識し、前例に拘わらず、あらゆる創意工夫を重ね、スピード感をもって、芽室町行政の質の維持向上を図ることを求める。



立川 美穂 委員

教育のデジタル化とオンライン教育の促進により、子どもたちの学びにおける個別最適化への環境が向上された。

不登校支援システムの構築により、誰もが安心して学べる環境が確保された。

市民ファシリテーターの総合計画審議会参画により、住民自治の町づくりへの促進がなされた。芽室シモト大学による子どもと地域住民の連携事業では相乗効果を生むプロジェクトが実施された。各種キャッシュレス決済導入により、住民の利便性向上が図られた。一方で、少子高齢化へと向かうこれからの縮減社会においては、より一層、EBPM(根拠に基づいた政策立案)と、自治体DXによる効果的な事業推進が本町のサステナビリティにおいて不可欠である。



反対



賛成



賛成



賛成

議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名	日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット 中継 アクセス数		
本 会 議	9月定例会議	9月1日 9:30~11:27	0:55	1:02	1. 専決処分について報告の件 2. 芽室町選挙管理委員及び同補充員の選挙について 他	3	(181)	
		9月21日 9:30~16:02	4:04	2:28	1. 令和5年度芽室町一般会計補正予算(第7号) 2. 一般質問3人 (木村淳彦、菊池秀明、中田智恵子)	15	(112)	
		9月22日 9:30~14:53	2:03	3:20	1. 一般質問4人 (中村和宏、堀切忠、渡辺洋一郎、正村紀美子)	15	247	
		9月26日 9:30~11:03	0:35	0:58	1. 令和4年度芽室町各会計決算認定の件 2. 「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情 他	3	(152)	
常 委 員 任 会	総務 経済	第8回 9月14日 13:30~14:34	0:02	1:32	1. 芽室町農村滞在型余暇活動機能整備計画の策定について 2. 新東工業団地開発について	2	(114)	
		第9回 9月26日 11:15~11:19	0:00	0:04	1. 陳情第2号「軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書」の提出を求める陳情	2	(152)	
	厚生 文教	第7回 9月1日 11:40~11:43	0:00	0:03	1. 陳情第1号「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情	1	(181)	
		第8回 9月6日 1:30~14:32	0:13	0:49	1. 陳情第1号「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情 2. 新型コロナワクチン接種について	1	28	
		第9回 9月20日 9:30~9:38	0:00	0:08	1. 先進地事務調査について	0	(5)	
		第10回 9月26日 11:30~12:04	0:01	0:33	1. 第9期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について	1	(152)	
		議会運営委員会	第10回 9月5日 13:30~13:48	0:06	0:12	1. 令和5年芽室町議会定例会9月定例会議の運営について 2. 9月定例会議における一般質問について 他	0	(133)
			第11回 9月20日 10:50~11:10	0:01	0:19	1. 令和5年芽室町議会定例会9月定例会議の運営について 2. 一般質問の通告方法の改正について(案)	1	(5)
		予算決算特別委員会	第6回 9月1日 10:40~11:20	0:01	0:39	・令和5年度各会計補正予算の審査について	3	(181)
			第7回	9月11日 9:30~14:54	2:03	3:21	決算審査 ・財政分析等の説明及び質疑 ・5特別会計、3事業会計、一般会計(議会費、総務費)	0
9月12日 9:30~16:08	2:44			3:54	決算審査 ・一般会計(総務費~商工費)	1	456	
9月13日 9:30~14:06	2:00			2:36	決算審査 ・一般会計(土木費~公債費) ・歳入全般	0	286	
9月14日 9:30~9:43	0:00			0:13	決算審査 ・全会計一括討論・全会計一括採決	0	(114)	
第8回 9月21日 9:36~10:49	0:03		1:10	・令和5年度一般会計補正予算の審査について	15	(112)		
第9回 9月26日 10:18~10:36	0:00		0:18	・令和5年度各会計補正予算の審査について	3	(152)		
新嵐山スカイパーク 経営改革調査 特別委員会	第4回 9月5日 9:30~12:31		0:05	2:56	1. 新嵐山スカイパークの今後について	2	(133)	
合計	41:31	14:56	26:35		計68	平均156.2		

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示
※インターネット中継を実施しなかった会議

HOT VOICE

議会ホットボイス

私のおともだちは、嵐山山荘で働いています。休みの日も一生懸命働いています。でも、先生がたが嵐山をつぶして、給料もとあげると聞きました。新聞も見ました。どうしてそんなことをするんですか。芽室はとうきび日本一で儲かってるんじゃないんです？お金がないなら、先生かたのお給料から出したらいんじゃない？おともだちが何か悪いことしましたか。むごすぎです。(無記名)

9月21日に行われた一般会計補正予算に関する審議について。
新嵐山スカイパークの運営会社への支援金が否決されましたが、これは芽室町にとって非常に由々しき事態だと感じました。中継を見ても、反対した議員たち11名は会社の数字というものや運営会社の倒産による芽室町のリスクを何一つ理解できていないようで、話が全く的外れで悲しくなりました。議員の皆さんは何のために議員をやっているのでしょうか？この町の未来のためではないのでしょうか？足を引っ張り合い、誰かに責任を押し付けるためなのではないでしょうか？新嵐山スカイパークは、コロナ禍にも関わらず、この数年で大きく変わったと感じています。以前はどこか辛気臭く、わざわざ、道外から来た知人を連れていくなんてことはしませんでした。今は子供たちの楽しそうな声が響き渡り、ワンちゃん連れの方達が笑顔で談笑される、大変心地よい空間になり、知人が来た際には展望台も兼ねて連れて行きたい場所になっています。会社の経営状況については、これまでも町へ報告がなされ、それを議会でも承認してきていたのだと理解していましたが、9月21日の審議を見る限りでは、議員の方々はそれをなかったことにして会社が悪い、町長が悪いと、都合のいい意見を押し付けているように感じました。やはり、議員の方々は「町民のため」ではなく「一部の自分を支持してくれている町民のため」に活動されているのでしょうか？既得権益のため？甘い汁が吸える？某自民党が行っているこの国の政治の縮図、典型的なムラ社会そのものかと思えて、悲しい気持ちでいっぱいです。どうか、この町の子供たちが、10年後も20年後も笑顔で「芽室町が大好きだ。」と言えるまちづくりを進めていただきたいです。芽室町の未来のために、手島町長による英断に期待しています。議員からの回答も、ぜひ、こちらのページで掲載をお願いします。(40代・男性)

新嵐山支援の議会否決、なぜ？

今回新聞の記事を拝見しました。芽室町議会は新嵐山への支援をしなさいということで否決されたということですが、コロナも終わり、これから色々なことができる可能性がある中、議会で否決され、それで終わりというのがとても町民として悲しいです。従業員の生活、取引先、これからの芽室町の子供たちの教育の場を考えて、どうにか存続の道を進んでほしかった。議員の方々はまだ否決して、解決案があるわけでもない。芽室町としてワークショップなど色々な案を考えている中でとても残念で仕方ない。(30代・女性)

このように行政へ意見を送ることが初めてなのですが、スカイパークの営業停止を阻止して頂きたいです。既に可決されているから仕方ないというのが町議の判断だとは思いますが、あまりにも急過ぎて私たち利用者はもちろんイベント主催者や参加・出店予定の方々がとても混乱しております。私たち利用者はスカイパークスタッフの方々の努力をずっと見続けてきており安心して楽しませて頂きました。町外はもちろん道外からもスカイパークを目当てに来る方もおり、芽室町にはなくてはならない施設です。鹿追町の然別湖のようにクラウドファンディングで成功している施設もある中、即刻営業停止するような芽室町議会に失望しており芽室町のイメージダウンに繋がっていると確信致します。どうか運営が続けられるよう覆すことはできないのでしょうか？スカイパークの価値をもう一度考察し考え直して頂きたいです。また、強制営業停止後に施設は再構築させるのかなど今後どのようにしていくのかもお聞かせ頂きたいです。

「めむろ新嵐山株式会社(以下「運営会社」という。)」への支援金否決について、様々な御意見をお寄せいただき、議会としては、その声を真摯に受け止め、速やかに全議員が共有したことを、まず最初にお知らせいたします。
御指摘の9月議会における運営会社に対する追加支援金5,200万円の可否については、7月上旬に、町から運営会社の経営が危機的状況であるとの説明を受け、この会社との契約は清算に向けて取り進める旨の提示があったことを機に、議会として調査を始めたものです。
議会では、町が変更しようとする経営方針を詳しく確認・調査するために「新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会」を速やかに設置し、これまでの約2か月にわたり、町に対して実態の確認や今後の経営見通し等の説明を求め、精力的に審査と調査を重ねてきました。
その結果、先の9月議会(9月21日本会議)において、議会としては、現在の新嵐山を運営する会社への資金投資は、今後の見通しを踏まえたとしても経営状況の著しい悪化は回避できず、これ以上、町の貴重な予算を投じる追加支援は見極めるべきとの意

お答えします

思となり、賛成少数(賛成4・反対11)で否決となったものと捉えております。
ただ、決して、今回の否決が議会として、新嵐山スカイパーク(以下「スカイパーク」という。)の運営に係る最終的な責任とは考えておらず、スカイパークは、この町の、また、町民の貴重な財産であり、守り引き継ぐべきものとの認識から、速やかに次の段階の検討に向けて、町と連携しながら取り組んでいく考えです。
スカイパークの運営及び改革については、長年にわたり、議会は数々の議決をし、併せて指摘、チェックをしながら、町と共に歩み進んできた責任は当然自覚しているところであります。
紙面に限りがあり、お答えしきれない部分もありますが、今回の否決という結果のみに視点を絞ることなく、これまでの議会の調査研究の経過についても、議会ホームページや議会だより等もご覧いただき、一定の御理解を賜りますとともに、今後も正確でタイムリーな情報公開に努めてまいりますので、忌憚のない御意見をお寄せくださいますようお願い致します。

審議した議案と各議員の賛否 9月定例会議

種類	議案名	議員名														審査結果	議決日		
		菊池 秀明	伊藤 稔	木村 淳彦	小笠原 等	中田 智恵子	橋本 和仁	堀切 忠	渡辺 洋一郎	立川 美穂	早苗 豊	中村 和宏	正村 紀美子	常通 直人	西尾 一則			鈴木 健充	梶澤 幸治
議案	令和5年度芽室町一般会計補正予算(第7号)	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	-	否決	9/21
認定	令和4年度芽室町国民健康保険特別会計決算認定の件	○	○	○	○	○	遅	×	×	○	○	○	欠	○	○	○	-	認定	9/26
認定	令和4年度芽室町後期高齢者医療特別会計決算認定の件	○	○	○	○	○	遅	×	×	○	○	○	欠	○	○	○	-	認定	
認定	令和4年度芽室町介護保険特別会計決算認定の件	○	○	○	○	○	遅	×	×	○	○	○	欠	○	○	○	-	認定	

○…賛成、×…反対、-…議長のため採決には加わりません 欠…欠席、遅…遅参 ※全員賛成の議案は、掲載していません。

国に3件の意見書を提出

「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書」

「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書」

「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、
「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」

意見書の全文は
コチラから



志鷹(しおう)君 1歳

表紙写真
9月1日に行われた芽室町の社のお祭りでのひとコマ。

【お詫びと訂正】

令和5年9月12日発行の議会だよりNo.253の本誌P3にて、誤りがありました。正しくは次のとおりです。

(別表3)追加支援(補助金)の内訳

(誤)	(正)
R4 ⇒	R2
R5 ⇒	R3

議会傍聴で芽室の未来が見える！



インターネット中継は
コチラから視聴できます。
(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

後編 編集集

■気温も下がり、朝は寒さを感じる季節になりました。そんな中、9月定例会議において、私にとつて初めての決算議会となりました。討論もさせていただき充実した月でした。引き続きしっかりと準備をして取り組んでいきたいと思っております。



菊池 秀明

■地球温暖化の影響により、今年の夏は異常な暑さが続きました。9月中旬に入り、いつもの気候に戻り、いよいよ収穫の秋です。豊作で実りの有る収穫を願い、そして、日本の芽室産ジャガイモ、野菜を食べられることを期待して楽しみにしています。



橋本 和仁

■長きにわたり暑かった夏が終わり、いよいよ秋の到来。9月定例会議が終了しました。初めの「決算審査」「一般質問」、1番は「めむろ新嵐山(株)への補正予算」と責任の重さを痛感し、緊張したところでもあります。いざにして町民の暮らし、安全、生きがいなど、貴重な財源を守り、創作していくという使命を取り組んでまいります。



木村 淳彦

LINE@

友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト

▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai



公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai

随時更新中